

ワンツースリー One23

東京23区が
見える。
わかる。

Vol.35

2019
WINTER

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

活躍中! イメージ キャラクター 大集合

特集

- クマなくさんぽ
…新宿が生んだ文豪・夏目漱石の世界を楽しむ
「新宿区立漱石山房記念館」
- とくべつクマ特別調査 23区の1・2・3
…都内で初 国の重要文化的景観に選定
- 所蔵資料蔵出し
…「東京市政の一斑 第36回自治記念日公開」

ワンツースリー

都内で初めて国の
重要文化的景観に
選定された地域は
どこでしょう?

Question



とくべつクマ®

答えは中面に! /

活躍中！
イメージ
キャラクター
大集合

特集

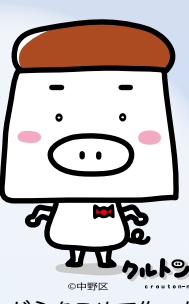
江戸川区
えどがわ銭湯応援
キャラクター
お湯の富士



稽古の後、銭湯で汗を流すのが大好きな力士。ツイッターにも登場し江戸川区の銭湯の魅力をPRするキャラクターとして活躍しています。みんなも銭湯に入りに行くっすう～。

☎03-5662-0523
生活振興部産業振興課商工労務係

中野区
なかのまちめぐり
博览会マスコット
キャラクター
クルトン中野



中野区内のパン屋さんが心をこめて作ったパンの耳から生まれました。中野のまちの様々な魅力をみんなに伝えます。中野にみんな来るトン！

☎03-3228-5433
都市政策推進室都市観光・地域活性化分野

世田谷区
ぼく、せたっち！
一緒にユニバーサル
デザインを広めて
いこう！



世田谷区のユニバーサルデザイン普及キャラクターです。ユニバー「サル」デザインの「サル」にかけて平成20年に誕生！

☎03-5432-2038
都市整備政策部都市デザイン課

墨田区
すみずみまで
綺麗に皆の墨田区！
清掃イメージキャラクター
すみにゃーる



23区初のAI搭載型ごみ分別案内チャットボットの中で、ごみの出し方を教えてくれるキャラクターとして頑張っています。

☎03-3613-2229
すみだ清掃事務所

文京区
“文の京”を元気に
するため戦う
文京戦隊BUN
レンジャー



文京花の5大まつり（梅・桜・紫陽花・つつじ・菊）がモチーフ。文京博覧会やおまつりに参上！まちを盛り上げるため活動中！！

☎03-5803-1173
経済課

千代田区
みゅうじろう



男女共同参画センター MIW(ミュウ)のマスコットキャラクター「みゅうじろう」です。本と人が好きなみゅうじろう。MIWでスタッフのお手伝いをしながら、皆さんをお待ちしています。

☎03-5211-4166
地域振興部国際平和・男女平等人権課

台東区
台東くん



台東区のまもり神「台東くん」。「台」と「東」という文字が合体して台東くんが誕生しました！台東区の人々を幸せに導く使命を持っています。

☎03-5246-1151
観光課

杉並区
なみすけ



「なみすけ」はスギナミザウルス島に住んでいた妖精で、島を船で旅立ち、憧れていた杉並区に辿り着きました。平成18年に公募で選ばれて誕生した区のキャラクターです。

☎03-5347-9184
産業振興センター 観光係

豊島区
としまなまる



「としまなまる」は区制施行70周年を記念して誕生した、ふくろうの姿かたちをした謎の生き物。区のイベントやホームページ、広報紙など、あちこちに登場します。

☎03-4566-2531
広報課

新宿区
新宿シンちゃん



区の防犯マスコットキャラクターの「新宿シンちゃん」は、地域のお祭りやイベントに出演するなど活躍中！みんな仲良くしてね！！

☎03-5273-3505
総務部総務課

足立区
ビュー坊



「美しいまち」は「安全なまち」。「ビューティフル・ウィンドウズ運動」展開中！PRキャラクターの「ビュー坊」です。よろしく！

☎03-3880-5803
シティブロモーション課

目黒区
しろくま
フロートくん



目黒区地球温暖化対策の啓発絵本「しろくまフロートくんのおねがい」のキャラクターで、地球温暖化対策の取組を紹介しています。

☎03-5722-9034
環境清掃部環境保全課温暖化対策係

練馬区
練馬区公式アニメ
キャラクター
ねり丸



平成31年(2019年)秋に世界都市農業サミットを練馬区で開催するねり〜！開催に向けて盛り上げているねり＼(^o^)／

☎03-5984-2694
広聴広報課庶務係

江東区
江東区観光
キャラクター
コトミちゃん



江東区観光キャラクターの「コトミちゃん」です。水辺で遊ぶのが大好きな水鳥の女の子。区の花・サザンカの髪飾りをつけて様々なイベントで区の観光PRをしています。

☎03-3647-3312
文化観光課観光推進係

渋谷区
あいりっすん



区の花・ハナショウブの妖精「あいりっすん」。代々木の森に住む優しい女の子で、お化粧することが大好き。イベントにお出かけして区の魅力をPRしています。

☎03-3463-1762
商工観光課商工観光係

北区
北区認知症支援
キャラクター
こんちゃん



認知症への理解を深め、支援を身近に感じていただくために、イベントや認知症カフェ等で大活躍！

☎03-3908-9017
長寿支援課

大田区
大田区公式
PRキャラクター
はねぴょん



大田区制70周年を契機として、誕生しました。大田区の魅力をPRするため、区の事業だけでなく、地域イベント等にも積極的に参加しています。

☎03-5744-1322
観光課

品川区
品川区3競技応援キャラクター



品川区3競技応援キャラクターの「シナカモン」「ビーチュウ」「やたたま」です。東京2020オリンピック・パラリンピックで区内開催のホッケー・ビーチバレーボール・応援競技であるブラインドサッカーを盛り上げることが、彼らの使命です。

☎03-5742-9109 オリンピック・パラリンピック準備課

中央区「中央区の森」キャラクター
左からビノッキ、スギンチュ、
コナラン、ブナゾウ



広報紙やホームページなどに登場する「中央区の森」の妖精。西多摩郡檜原村で森林を守り、育てるため実施している「中央区の森」事業をPRしています。

☎03-3546-5654
環境推進課環境活動係

港区 リデュース、リユース、
リサイクルの3Rキャラクター、左から
だんじろう、リユー助、エコル



ごみ減量・リサイクル推進のために活躍中です。「だんじろう」と「リユー助」は、6月の「ふれ愛まつりだ、芝地区！」、10月の「みなと区民まつり」に登場します。

☎03-3450-8025
みなとリサイクル清掃事務所

板橋区
りんりんちゃん



板橋区の花「ニリンソウ」の妖精をモチーフにした観光キャラクター。凛とした2つの花を咲かせる「ニリンソウ」の「リン」と、「板」「橋」の部首の「きへん(木)」2つで、緑を思わせる「リン(林)」、合わせて「りんりんちゃん」と名付けました。お気に入りの葉っぱの帽子をかぶり、おもてなしの心で、緑豊かな板橋を元気いっぱいにアピールします。

☎03-3579-2251
産業経済部くらしと観光課

葛飾区
葛飾区のごみを
減らすために
「ごみゼロの国」からやってきた
葛飾区ごみ減量・3R推進
キャラクター
リー(Ree)ちゃん



ごみ収集袋をイメージしています。ごみを減らすための3つのキーワード、Reduce(リデュース:発生抑制)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(リサイクル:再生利用)に共通するReとeが名前の由来です。

☎03-5654-8273
リサイクル清掃課ごみ減量推進係

荒川区
荒川区シンボル
キャラクター
あら坊・
あらみい



あら坊は荒川区の頭文字「a」をモチーフとしたキャラクターです。あらみいはあら坊の妹です。各種イベントにて区の魅力を発信します。

☎03-3802-3111 内線2118
総務企画課企画係

もっと活用しよう!

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは?

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約9万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

こんなことしたよ

ぐんまの山村フェアin東京

群馬県市町村との交流を深めるため、「ぐんまの山村フェアin東京」を平成30年10月11日~12日に開催しました。今年度は、特別区長会が群馬県市長会、群馬県町村会と「特別区全国連携プロジェクト」にかかる連携協力協定を締結したことから第3回魅力発信イベント「特別区全国連携プロジェクト協定締結記念」として例年より規模を拡大し開催しました。当日は、多数の方にご来場いただき、群馬県市町村の魅力を紹介することができました。

今年で7回目の開催となったフェアでは、群馬県16市町村とアンテナショップ「ぐんまちゃん家」が特産品・農産品を販売し、各販売コーナーやお楽しみ抽選会場を中心に行列ができ、盛況となりました。

また毎年恒例となった群馬県のキャラクター「ぐんまちゃん」をはじめとした県内市町村のキャラクターに加え、公益財団法人特別区協議会のキャラクター「とくべつクマ」も登場し、会場を盛り上げてくれました。



当日登場したキャラクターたち

出展団体

桐生市、太田市、沼田市、館林市、
藤岡市、上野村、神流町、
下仁田町、南牧村、甘楽町、
長野原町、嬬恋村、東吾妻町、
片品村、みなかみ町、板倉町、
公益財団法人群馬県観光物産国産協会
(ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」)



抽選会の様子



会場の様子

こんなことしたよ

東京都公文書館紹介展示 「東京150年 公文書館と絵図が語る首都東京の歴史」

東京区政会館1階エントランスホールにて公益財団法人特別区協議会と東京都公文書館との共催による企画展示「東京150年 公文書館と絵図が語る首都東京の歴史」を開催(平成30年11月24日(土)~12月22日(土))しました。

本年は東京都の前身となる東京府の成立から150年という節目の年に当たります。この機会をとりえ、首都東京の基盤が築かれていく明治初年の様相、東京の発展に尽くした人々のプロフィール、現在の東京都域が形成されていくプロセスなど、主要な資料と絵図を通して紹介展示を行いました。

特別区協議会では引き続き、東京区政会館1階エントランスホールを活用した企画展示を開催いたします。皆様のご来館をお待ちしております。



エントランス



展示会場の様子



パネル展示

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

特別区に関する資料から読み解いてみよう!



「東京市政の一斑 第36回自治記念日公刊」

昭和9(1934)年
10月1日発行

かつて東京23区の地域に存在した東京市。本書は、昭和9年の第36回目の東京市自治記念日を記念し発行されたものです。東京市政の現状を紹介することにより、市民が市政に関心を持ち、自治の意識を高めることを目的に刊行されました。今回は、本書を通じて当時の東京市政を探ってみます。

東京市のなりたち

明治22年に市制町村制が施行され、それまでの区は市に移行することとなり、市町村を基礎とする自治制度がはじまりました。しかし、東京は、特例により、当時の15区の地域をひとまとめに東京市となり、市長は東京府知事が兼ねることになりました。その後、完全な自治を求めて運動が起こり、府知事が市長を兼ねるという特例は廃止されます。そして、明治31年10月1日に公選の初代市長を迎えます。この日は後に東京市自治記念日とされました。



上野公園における東京市役所開庁式

膨張する東京市

当初15区だった東京市は、昭和7年には隣接する5郡82町村を編入して35区となります。これにより、東京市は「面積は五五三^{km²}方^{km²}」、「人口は凡そ五^{万人}百萬」で、「面積に於て世界第五位、人口に於て世界第二位の大都市」となり、「ニューヨーク市に次ぐ大都市に迄大躍進を遂げた」としています。

さらに、人口は年々増加傾向にあり、都市としての発展は目覚ましいものだったことが読み取れます。



進みゆくまちの整備 (築地中央卸売市場)

東京市は膨張するにつれて、保健衛生・社会福祉・産業等に関わる施設や事業の拡充が求められました。昭和7年の35区への拡大を機に、「国家に次ぐ巨額の財政を擁し断然地方財政の首位を占め」、昭和9年には東京市自治記念日である明治31年の純歳出の「五十八倍の増加」となり、大都市として急ピッチに施設等の整備が進められる様子が読み取れます。

右の写真は、築地中央卸売市場の竣工当時の写真です。「生鮮食料品を圓滑敏速に市民の食膳に供し、併せて價格の統制を圖る」ため、「一千五百萬圓の巨費と三箇年の歳月とを以て昨年暮竣工したもの」(開場は昭和10年)で、本書では、産業施設の中で最大のものとして紹介されています。

東京市の姿を思い浮かべることはできましたか?これらの古い資料は、実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方は、お気軽にカウンターまでお声かけください。



竣工当時の築地中央卸売市場

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

クマなく さんぽ



新宿区



夏目漱石が暮らした新宿に生まれた、 漱石にとって初の本格的記念館 「漱石山房記念館」

明治の文豪・夏目漱石が生んだ数々の作品は時を超え、今も多くのひとたちに愛読され続けています。その夏目漱石が生まれ育ち、亡くなるまでの数年間を過ごした新宿区に開館した「漱石山房記念館」をご紹介します。

夏目漱石の終の住処 「漱石山房」

時代を超えて今も愛読され続ける作品を、いくつも生み出した国民的文豪・夏目漱石。その作品はいくつか知っていても、彼が生まれ育ち晩年を過ごしたのが新宿区だということをご存知ない方も多いのではないのでしょうか？漱石は、1867年(慶応3年)に新宿に生まれ、1916年(大正5年)に亡くなるまでの9年間を、生家にほど近い「漱石山房」と呼ばれた家で暮らしました。現在の新宿区早稲田南町にあったこの家では、『三四郎』『こゝろ』『道草』など数々の名作が執筆され、漱石を慕う若き文学者たちが集う「木曜会」が催されていました。漱石山房は漱石没後の1920年(大正9年)に、書斎、客間、ベランダ式回廊のみを残し、母屋は建て替えられましたが、1945年(昭和20年)5月の空襲ですべて消失しました。

漱石文学を生んだ空間を再現

2017年(平成29年)9月、漱石山房があった早稲田南町7番地に、漱石生誕150周年を記念して「漱石山房記念館」が開館しました。この施設では、漱石の生涯やその作品、人物像などをグラフィックパネルなどで紹介するとともに、2階の展示室では、実物の原稿や草稿、書簡なども展示しています。

最大の見どころは、漱石の書斎と客間、ベランダ式回廊を再現した展示です。この再現にあたっては、資料や旧蔵書を所蔵する県立神奈川近代文学館、東北大学附属図書館の格段の協力をいただきました。漱石好きであれば、晩年の作品が生み出された書斎と、漱石を慕う人々が毎週集まった「木曜会」が催された客間、漱石が眺めた風景を想像させるベランダ式回廊の再現展示に心踊ることでしょう。

漱石を知らないひとにも気軽に

館内にはブックカフェがあり、漱石の作品を閲覧しながら漱石にちなんだオリジナルメニューを楽しむことができます。同館隣には、夏目家が飼っていた猫や犬の供養のために建てた「猫の墓」がある「漱石公園」があります。少し歩くと、漱石の生家跡に建つ記念碑を見ることが出来ます。記念館を訪れたついでに、漱石ゆかりのまち歩きをしてみるのも楽しいでしょう。作品を読んだことがないというひとからコアなファンまで、その人なりの漱石を知ることができる漱石山房記念館に、ぜひ一度足を運んでみてください。



漱石紹介の導入展示(無料)



漱石山房の書斎(有料)



資料展示(有料)



関連図書が閲覧できる図書室(無料)



ベランダ式回廊(有料)



漱石公園の猫の墓

年に数回のテーマ展示や特別展を開催しています。

《通常展》テーマ展示

『「人と人を結びつける」ことば 寄贈・寄託資料から』

12月4日(火)～3月10日(日)

近年寄贈・寄託を受けた資料を中心にをご紹介します。

新宿区立漱石山房記念館

所在地 新宿区早稲田南町7番地
開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日 月曜日(祝祭日の場合は直後の平日)、年末年始
入館料 通常展／一般¥300、小・中学生¥100
※団体(20人以上)は個人の観覧料の半額
※特別展等の開催時の観覧料は、内容により変わります。
※障害者手帳等をお持ちの方は、受付にご提示いただくと観覧料が無料になります。

アクセス 【電車】東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分
【バス】都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

お問合わせ 03-3205-0209

とくべつクマ特別調査

23区の

ワン ツー スリー
1・2・3

東京都内初！国の重要文化的景観に選定

「葛飾柴又の文化的景観」

地域をあげて長年街の保全に取り組んできた葛飾柴又が、東京都内初の「重要文化的景観」に選定されたよ。文化的景観としての葛飾柴又の魅力や、今後の取り組みについて、葛飾区産業観光部の谷口さんと小西さんにお話を聞いてみたよ。



葛飾柴又の文化的価値

2018年2月、葛飾柴又が東京都内初の「重要文化的景観」に選定されました。

文化的景観としての葛飾柴又は、近世初期に開基された帝釈天題経寺とその門前を中心に、それらの基盤となった農村の様子を伝える旧家や寺社などの景観がその周囲を包んでいます。さらにその外側に19世紀以降の都市近郊の産業基盤や社会基盤の整備の歴史を伝える景観が広がり、水路の痕跡や道などもよく残っています。江戸川右岸に位置する葛飾柴又は、古代から人々が生活してきた水陸交通の重要地点として捉えられ、いにしえの人々の暮らしの風景が色濃く残る街とされています。

景観に潜む人々の暮らしと文化

葛飾柴又は、映画『男はつらいよ』の寅さんの故郷として全国に知られています。駅から帝釈天へと続く参道には、映画でもおなじみの草団子や川魚料理、せんべいなどを売る店が並び、帝釈天に向かう参拝客に「行ってらっしゃい」という声がかかります。昭和のノスタルジーを感じる参道の風景には、寅さんファンならずとも魅力的に映ります。しかし、葛飾柴又の魅力は、それだけではないのです。柴又は古代から集落が営まれている地域で、そこには時代時代の暮らしを彷彿とさせるスポットが数多く残っています。

柴又はその昔「嶋俣(しままた)」と呼ばれ、地名の由来は奈良時代にまでさかのぼります。柴又の鎮守として旧くから祀られてきた「柴又八幡神社」からは、6世紀末から7世紀初頭に造られた前方後円墳が見つかり、帽子をかぶった寅さんそっくりの埴輪が出土して話題となりました。「矢切の渡し」が在るところは、古くから渡河地点として利用されていた浅瀬で、周辺は戦国時代に小田原北条氏と安房里見氏が攻防戦を繰り広げた古戦場だった場所でもあります。

江戸時代には、帝釈天のお参りがてらに江戸川をはじめとする周辺の自然を愛で、名物の川魚料理や草団子に舌鼓を打ちながら行楽を楽しむ人々で、柴又は賑わいをみせました。明治の時代には鉄道が整備され、産業の発展に伴って農村は姿を消していきましたが、用水跡や旧家の佇まいなどが、古き昔の柴又の風情を今に伝えています。柴又駅、参道、帝釈天といったお決まりの観光コースから少し外れた通りには、古い佇まいを残した旧家が点在します。帝釈天の南に位置する近代和風建築「山本亭」では、純和風の庭園を眺めながらお茶を楽しむこともできます。

重要文化的景観に選定された葛飾柴又の街には、時を超えた見所がたくさん散りばめられています。街を訪れる人たちの目には、寅さんが愛した風景以外にも、さまざまなものが映るようです。柴又駅前の観光案内所でガイドブックを入手して、一味違った柴又の街巡りを楽しんでみてください。

帝釈天参道



重要文化的景観ってなに？

2004年に文化財保護法が改正され、国は、地域において人々が生活又は生業を営む中で自然と関わりながら作り出されてきた景観(文化的景観)を文化財と位置付け、特に重要なものを重要文化的景観として選定し支援を行うことを決めました。



帝釈天題経寺



矢切の渡し



柴又八幡神社



山本亭



寅さん埴輪
(葛飾区郷土と天文の博物館提供)

お問い合わせは

葛飾区産業観光部
観光課
03-3838-5558



葛飾柴又のこれから

「帝釈天の縁日である庚申の前日を宵庚申といいます。その昔、宵庚申の日は参詣客で柴又は夜通し賑わったそうです。こうした古の歴史にも思いを馳せながら、昼間の賑わいととも、軒下照明でほんのりと照らし出された夜の柴又の風情も楽しんでいただけたらと思います」(観光課:小西さん)

「文化観光は、世界中の人たちと共感しあい、交流が促され、大袈裟かもしれませんが、未来の平和へと繋げていく力を持っています。葛飾柴又の文化的景観の魅力を世界に向けて、発信していきたいと思っています。2020年はまさに「国際交流」の好機なのですから」(観光課:谷口さん)

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。

※講座や企画の詳細は(公財)特別区協議会ホームページ(HP)をご覧ください。

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。

どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

(公財)特別区協議会HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/>

**特別区全国連携プロジェクト
平成30年度第2回
全国連携展示(青森県市町村)
「縄文の大地 青森の魅力」**

主 催 特別区長会・
(公財)特別区協議会

展示期間 平成31年1月8日(火)
～2月14日(木)



特別区自治情報・交流センター(4階)休館のお知らせ

蔵書点検のため、休館します。

休館期間 平成31年1月21日(月)～1月26日(土)

問合せ先 03-5210-9051 なお、年始は平成31年1月4日(金)から開館します。



**One23
とくべつクマ®**

23区のあれこれを広く
皆さんに知ってもらいた
いという特別な思いを胸
に活動している、公益財
団法人特別区協議会の
公式キャラクターです。



プロフィールはこちらから
<http://www.tokyo-23city.or.jp>

編集後記

今号では、23区で様々な役割をもって活躍している、イメージ
キャラクターを紹介しています。

ほかにもたくさんのキャラクターがいます。

ぜひ、会いにいらしてください。とくべつクマも応援よろしくお願いします。(H&F)

特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館

開館時間:(4階)9:30～20:30

(土曜日は9:30～17:00)

休館日:日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分